

今回は、
京都市の財政状況について、
「とにかく分かりやすく」を
テーマに
調べていきます！

財政が改善されて
安心したのである。
でもなぜ、
こんなに早く
改善できたのかにゃ？

市民の皆さんからも
「短期間で改善した理由
が知りたい」という
声も届いてる。

つかさというしんぶん
しらべる堂

読者に答える！
京都市財政

ち

問合せ 財政室 TEL222-3288 FAX222-3283

しらべる堂店主
つかさ

※金額は概数

京都のまちを見守る
鐘馗はん

しらべる堂看板猫
ワガハイ

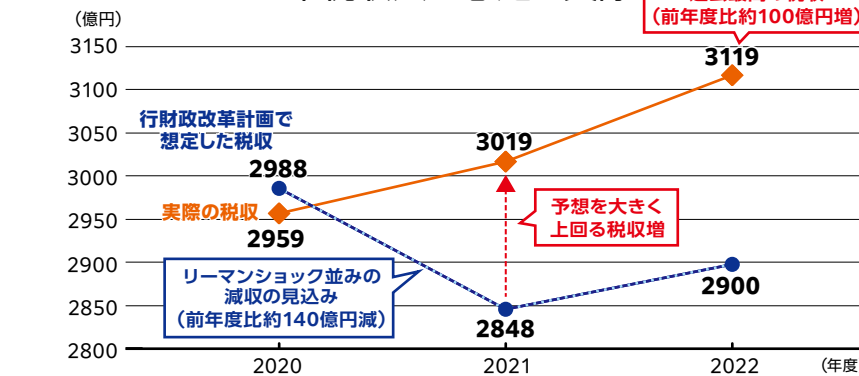
そもそも…

ちょっと前には、
「京都市は改革をしなければ
財政破綻するかもしれない」と
聞いていたような気が
するのである…

確かに
そういう状態の時もあったんじや。
まずは、改善の理由を見る前に、
コロナ禍より前から今までの
財政状況を見ていくぞい。

改善の理由① 収入の確保

市税収入の想定と実際



国や府と連携した市民・地域企業の下支えなどの結果、見込んでいた大幅な市税収入の減少を回避。観光客の回復によって宿泊税も順調に回復し、2022年度には、過去最高の3119億円の市税収入となりました。

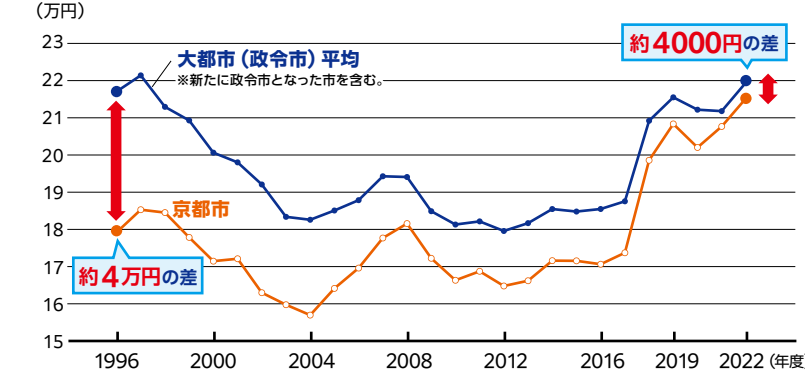
「グラフに含まれない収入も増加」

ふるさと納税寄付金

京都ならではの返礼品を充実させ、2022年度には、95億円と過去最高を更新。

③国は5.4%減、京都市は京都経済の多様性を踏まえて4.7%減を想定

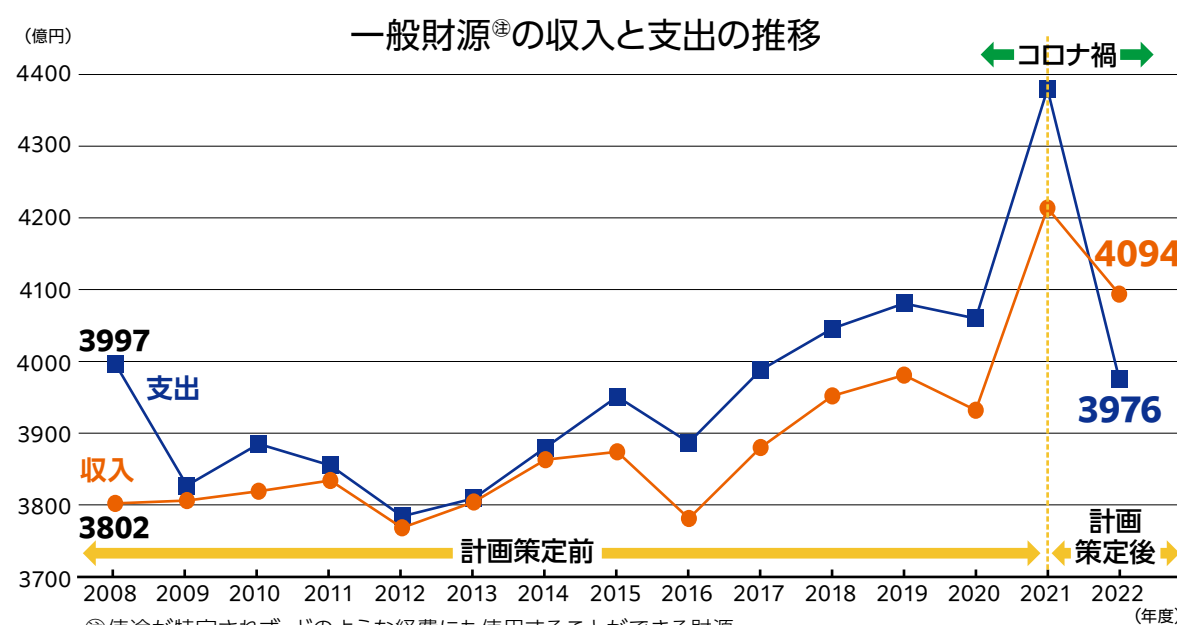
市民1人当たりの市税収入



リーマンショックの経験から、コロナ禍では、全国的に大幅な減収が見込まれていたんじやぞ。

京都市は
大学生や高齢者の人口割合が
高いことなどから、他の大都市よりも
1人当たりの市税収入が
低い傾向にあります。
そのため、市民所得の向上やまちの
活性化などに長年取り組み、
大都市平均との差が縮小しました。

一般財源^④の収入と支出の推移



④使途が特定されず、どのような経費にも使用することができる財源
※府費教職員給与費移管分を除く

京都市では、これまでから福祉など全国トップレベルの独自施策を維持・充実してきました。一方で、国から各都市に配分される地方交付税の大幅な削減などを受け、支出が収入を上回る赤字の状態が続いていました。

その中で、突然のコロナ禍となり、大幅な市税の減収が見込まれ、何も改革をしなければ、財政破綻しかねない状況に。

市民や事業者の皆さまのご理解・ご協力の下、2021年度に行財政改革計画を策定し、取り組みを進めた結果、2022年度の決算は黒字となりました。

大幅に削減されていた
地方交付税については、
改めて国に熱心に要望。
結果、必要額を確保することが
できました。

次に、財政を
短期間で改善できた
2つの大きな
理由について
説明します。

改善の理由② 支出の見直し

ここでは、支出の見直しの多くを占める
人件費の削減について見ていくのである。

2021・2022年度の2年間で51億円削減！

職員数

2年間で
324人削減

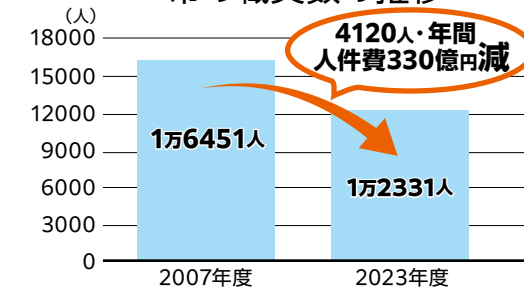
働き方改革

2022年度の
残業時間は
2019年度比
28%縮減

人件費の削減の他にも、市民・事業者の
皆さまのご理解・ご協力の下、
京都市独自の施策が持続可能なものとなるように、
1つ1つ丁寧に見直し、再構築しました。

長い期間で見ても、人件費を削減していたんじやな。

市の職員数の推移



※全会計ベース、旧府費負担教職員数を除く

京都市では、これまでから、市民の皆さまの命と暮らしを守るための行政サービスの維持に必要な体制をしっかりと確保しながら、徹底した業務の効率化や委託化・民営化などを推進。この16年間で4120人の職員数を削減し、年間330億円の人件費削減の効果をあげています。

長年の取り組みの成果により、
2022年度の決算が
黒字につながったんじやな。
皆さまのご協力による77億円の黒字は、
過去負債の返済や市民生活を守る物価高騰対策、
子育て支援などにしっかり生かしていくぞい。

持続可能な行財政を
続けていくためには、
これからの取り組みが重要になります。
さて、本日のしらべる堂はこれにて閉店。
またのご利用をお待ちしております！

京都市の人口統計
(2023年11月1日時点)

144万3368人
男68万1915人
女76万1453人

世帯数

74万6265世帯



●市民しんぶんの制作費 9900 万円のうち、約6割 (5800 万円) を広告料収入で賄っています (金額は概算)。
●市民しんぶん 1部当たりの公費負担額は2.6円です。



京都いつでもコール

TEL 661-3755

FAX 661-5855

TEL: 8~21時、FAX・メール: 24時間 (年中無休) ※おかけ間違いにご注意ください

京都いつでもコール